

梅鶯仏教壮年会報

第173号
2021年
11月7日

報恩講

※法輪寺報恩
講と併修

十一月十三
日（土）

生きる意味と言うのは、
深く考えるものではなく、
生まれてきた
そのこと自体が
奇跡的で
尊いことなのです

比留間榮子
（97才薬剤師）

（質問） 幸せには、相対的な
幸せと、絶対的な幸せがあ
り、ほんとうの幸せとは、と
いうところを聞かせていただ
きたい。

「相対的な幸せ」とは、他
との比較においてということ
です。から一時的な喜びや満
足のことでしょう。
「絶対的な幸せ」とは、ど
んな事態がおきても壊れない
安心、喜びのことでしょう。
人生には「相対的な幸せ」
を求めることもある程度必要
かもしれません。芥川龍之
介の言葉に「幸福とは幸福を
問題にしない時を言う」とあ
るように、目先の幸せにとら
われない生き方も大事だと思
います。
また、お念仏のみ教えを聞
かせて頂くことにより、「絶
対的な幸せ」とは何なのかを
追い求めることは、私達念仏
者にとって、より大切なこと
ではないでしょうか。

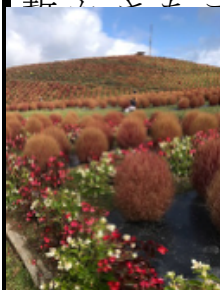
（質問） 七高僧ってどなたで
すか？

仏教はインドから中国を経
由して日本に伝えられてきま
した。その中でお釈迦様が本
当にお説きになりたかったの
が南無阿弥陀仏のみ教えなの
ですが、親鸞聖人はその教え
を正しく伝えて下さった七人
の高僧を「七高僧」として尊
び崇められました。
その七人の高僧とは、印度
の龍樹菩薩（りゅうじゅ）・
天親菩薩（てんじん）・中国
の曇鸞大師（どんらん）・道
綽禅師（どうしゃく）・善導
大師（ぜんどう）・日本の源信
和尚（げんしん）・源空へ法
然上人（げんくう）の七人
のことです。
お寺の内陣には、阿弥陀さ
まに向かつて左側の余間に掛
かっている掛け軸に七高僧様
が描かれています。
お念仏は、お釈迦様から親
鸞聖人まで七高僧を通じて連
綿と結ばれてきたのです。

題材法話

前号からのつづき

は、大学の「仏教の根本精神」で
ある「四弘誓願」を基礎と
ぜい「人格教育」を基礎と
する「人格教育」を基礎と
るものは「生きた真実」に
目覚め、お釈迦様と同一
じ人格（さとりの）を得
る。「と願ひでありま
す。」そのための条件と
いうべき誓願が、二句
目の「煩悩無誓願」
断「武蔵野大学では、
さぼり流さず、」
かさに「流さず、」
意訳して「煩悩を断ず、」
文で「煩悩を断ず、」
さすなわち「煩悩を断ず、」
煩悩（おろむ）
り・おろむ
る・おろむ



か・う・で・し・やう

○煩惱を断じきれない

私・浄土真宗の宗祖であ
り、ますの親鸞聖人も、比
叡山での20年間は、道
を歩きたまいました。断つ
を歩きたまいました。断つ
されたかしの最終的に到達
切れたことのは、煩悩を断
分の発見でした。底の
中、その絶望のどん底の
一、われにまかせよう、そ
の「まま救う」という南
無阿弥陀仏のよび声で
した。つまり利他の完成
である阿彌陀如来の本
願との出会いです。本
願・親鸞聖人は、正像末
和讃（悲嘆述懐讃）
に、

小慈大悲

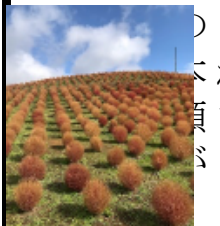
有情利益



さらに正信念仏偈で

如来所以興出世
唯説弥陀本願海

世・と、お釈迦様がこの
の「は、唯々このため弥
陀本願」を説くため、
あつたのだと、絶対他
力によるお釈迦様の究
極的にお釈迦様への道
か・つたものお釈迦様へ
示したお釈迦様へ
○煩惱とさとりの一如
様が、この度、専らご門主
様の「ご親教」で「浄土真
様の「ご親教」で「浄土真
さ・み・教・え」の中、一
の「煩悩と」のさとりは
の「煩悩と」のさとりは
本・来・一・つ・と・端・的・に・お
述・べ・お・ら・れ・ま・す・。
私・で・あ・る・か・ら・こ・れ・な
の・本・願・が・成・就・さ・れ・た・の
で・あ・る・か・ら・こ・れ・な
あ・れ・ば・こ・の・煩・悩
私・が・お・釈・迦・様
格・（・さ・と・り・）



「南無阿弥陀仏」と
な・つ・て・届・き・、・必・ず・救・わ
れ・て・る・。

○浄土真宗の社会的実践
中・で・の・大・い・な・る・安・心・の
が・条・件・で・あ・つ・た・の・も・の
が・報・恩・の・行・へ・と・転・ぜ
ら・れ・る・の・で・す・。

専・如・門・主・様・は・同・じ・く
「浄土真宗の教え」
の・中・で・、・「・む・さ・ぼ・り・」
い・か・り・に・「・流・さ・れ・ず・」
穩・や・か・な・顔・と・優・し・い
言・葉・「・喜・び・も・悲・し・み・」
も・分・か・ち・合・い・日・々
に・精・一・杯・頂・い・て・お
す・、・「・と・お・示・し・頂・い・て・お
り・、・武・蔵・野・大・学・の・四・弘・
誓・願・意・訳・文・で・も・、・「・お・ろ・
さ・ぼ・り・流・さ・れ・ず・」・と・
か・さ・に・「・流・さ・れ・ず・」・と・
表・現・さ・せ・て・頂・い・て・い・ま
す・。

い・断・ず・る・こ・の・で・き・な
け・つ・し・て・あ・つ・て・も・、
る・こ・と・な・く・、・利・他・を・完